

恩師、安積75期生、同窓生へ 発行部数 三百十部、老後の生き方を真剣に問い掛ける豆新聞 住所変更乞う連絡。

七五期

葉書きの同級会

▼立て続けに匿名氏2人かち葉書代、都合六百枚分の振り込みがあり俄然その気になりまとめた▼前号発送後すぐ、菅野増英夫人からFAXが入った『これからも豆新聞楽しみにしています。ちなみに子宝は5つです。』▼タウン誌『街こおりやま』に竹花栄明恩師の安積高校補習科の思い出と銘打って思い出の写真が掲載された。文章を一部省略して再掲載する。掲載誌12月

号欲しい方は早めに連絡下さい▼昭和37年4月20日、生徒から絶大な信望を得ていた津口信男校長のもと、安積高校補習科の開講式が行われた。安高の襟章と記章の他に、水田莊介先生デザイン「S」バッチを付けた第1期生は、確か女生徒4人を含む40人だった。出身校は、安積高をはじめ安女、郡女、須賀川高、田村高。クラス主任は私、副主任は後藤貞雄先生。教室は本館講堂下の北端で1番暗くて寒い場所だった。だがこの時から安高78年の歴史の中で1番明るく華やか

な男女共学の場となった。成績の上下に一喜一憂しながらも和やかな雰囲気の中でお互いに激励し合い、それぞれの志望校を目指して勉学に励んだ。しかし彼等は受験一筋のガリ勉屋ではなかった。体育の時間には在校生と共にテニスやサッカーを楽しみ空き時間には図書館では自習し読書も楽しんだ。ともあれあの頃のこととは今も鮮明に覚えているし、共に学んだ者たちの間でよき語り草となつている。素晴らしい思い出をありがとうと感謝したい。『理智の子ら いずこに在

すや 秋の暮れ』栄明▼その思い出の写真に写っている人。知って居るかぎり横田正章⑦渡部航志郎⑤吉田孝雄⑤中川浩夫⑦根本昭八⑤渡辺英司③平田英寿②斎川美彦⑦伊藤弘毅⑥千葉邦博⑦菅井正博⑤斎藤庸道⑥伊藤哲雄④岡部博（故人）国分洋⑦岡部洋文①松津幸男①安藤恪④小沼利正⑤近内寿勝⑦今泉透①森口彦弥⑥▼正月1日2日を除き、日帰り入浴も始めました。

葉書代送金先。郡山信用金庫熱海支店、普通一〇四四五一七、安積桑野75期会